

根岸線沿線九条の会連絡会

小出裕章さん講演会 原発と憲法9条

～原発回帰は憲法改悪への道～

先の通常国会では原発推進法が強行され、これまでとは異なる政府の原発回帰の方針が明瞭になりました。深刻な放射能汚染を引き起こした2011年3月11日の東日本大震災による福島第1原発過酷事故の教訓は忘れ去られようとしています。同時に、放射能汚染水の海洋放出も「関係者の理解なしにいかなる処分（海洋放出）もしない」という政府と東電の約束は破られようとしています。小出裕章さんは、3.11以前から専門家の立場から原発の危険性を訴え、幾つもの原発の建設を阻止してきました。

原発の推進と回帰は憲法9条に違反し、憲法改悪への道です。講演会への多くの皆様の参加を呼びかけます。

講師：小出裕章さん

(元京都大学原子炉実験所助教)



太鼓集団「荒武者」 による太鼓演奏

2023年10月14日(土)

開場 13:30 開演 14:00 終演 16:30

会場 あーすぷらざ・プラザホール

アクセス JR根岸線「本郷台」駅

徒歩3分



主催 根岸線沿線九条の会連絡会

大船九条の会 (0467-47-9720, 飯田)、栄区九条の会

(090-7175-1911, 後藤)、港南台9条の会 (090-8502-

8580, 成田)、洋光台九条の会 (090-6534-4635, 湯浅)、磯子地域九条の会 (080-

3251-8686, 高橋)、森九条の会 (080-1151-0943, 土志田)



小出 裕章(こいで ひろあき)さん



1949年、東京都台東区上野に生まれる。1968年、開成高等学校卒業。1972年、東北大学工学部原子核工学科卒業。1974年、東北大学大学院工学研究科修士課程修了(原子核工学)後、文部教官に採用され、京都大学原子炉実験所(現・京都大学複合原子力科学研究所)に入所。「熊取六人衆」の仲間達と出会い原発を訴えるようになる。本人曰く、自分は「実験所で最下層の地位」であり仕事は所内での放射性排水などの処理だった。2015年3月で定年退職。その後は新たな定職には就かず松本で暮らす。

開成高校時代には「地質部」で、野外で岩石や地層を追い求めながら自然に親しんだ。小出は「これからは石油・石炭でなく原子力の時代」と考え原子核工学を志した。希望が叶い大学入学後は原子核工学を専攻。しかし、東北大学在学中、当時女川町に建設予定だった原子力発電所に対し地元住民が反対する現状を知る。このとき、彼らが主張する「(原発が)安全ならば、なぜ仙台市に建設しないのか」という問いに対する答えを見出さなければならぬと考え、答えを導き出す。その答えとは、「(原子力とは)都会では引き受けられないリスクを持っている。したがって、電力消費地に近い都会では建設が困難なため、こうしたリスクを過疎の街に押し付けようとしている」というものであった。この答えに到達して以降、自らの原子力に対する考えと人生についての選択肢を180度転換させる。「この事実はとても認めることはできない、止めさせよう、これからは原子力を止めさせる方向へ自らの力を注いでいこうと決心した」。以後現在まで一貫して「原子力をやめることに役に立つ研究」を行っている。

著書に、『放射能汚染の現実を超えて』(2011年、河出書房新社)、『原発のウソ』(2011年、扶桑社新書)、『小出裕章が答える原発と放射能』(2011年、河出書房新社)、『原発のない世界へ』(2011年、筑摩書房)、『子どもたちに伝えたい 原発が許されない理由』(2011年、東邦出版)、『核=原子力のこれから—生まれ故郷で語る』(2011年、本の泉社)、『原発ゼロ世界へ—ぜんぶなくす』(2012年、エイシア出版、出版共同販売)、『原発と憲法9条』(2012年、遊絲社)、『図解 原発のウソ』(2012年、扶桑社)、『騙されたあなたにも責任がある』(2012年、幻冬舎)、『日本のエネルギー、これからどうすればいいの?』(2012年、平凡社)、『原発ゼロ』(2014年、幻冬舎ルネッサンス新書)、『100年後の人々へ』(2014年、集英社新書)、『フクシマ事故と東京オリンピック』(2019年、径書房)などがある。

太鼓集団「荒武者」(たいこしゅうだん「あらむしや」)

横浜を中心に活動している、太鼓集団「荒武者」です。生まれは1990年頃、保育・建築・法律・社会福祉・電気などなど、多種多様な業種のメンバーからなる、アマチュアの演奏集団です。

神奈川県に伝わる“三崎のぶち合わせ太鼓”や、愛知県奥三河に伝わる“花祭り”をはじめ、千葉県銚子に伝わる“銚子の早打ち”、北陸・東北などの日本全国各地に伝わる、太鼓や踊りなど多くの郷土芸能を学びながら、演奏・普及活動をしています。

郷土芸能には、五穀豊穡、無病息災、商売繁盛など、神事やお祭りには欠かせない古からの願いや祈りが込められています。いつまでも平和で、安心できる世界が続きますように！ 今日、舞い、踊り、太鼓を打ち鳴らします。

